

第429号 5月号 2020.5.20

岐阜県 商店街だより



発行元：岐阜県商店街振興組合連合会 岐阜市薮田南 5-14-53 TEL: 058-277-1107



商店街のリーダーに聞く vol. 2 商店街は個店のサポートを

◆大垣市商店街振興組合連合会

岐阜県内の頑張っている商店街連合会の代表者にお話を伺うシリーズ企画。第2回は、大垣市商店街振興組合連合会（大垣市商連）の小倉利之理事長です。大垣市商連は傘下に5組合と2発展会を持ち、総組合員数は約200を数えます。

■元気ハツラツ市

現在、大垣市商連のメインの取り組みは、毎月第一日曜日に開催している「元気ハツラツ市」です。大垣駅通りを歩行者天国にしてイベントやワゴンセールを行う本イベントは、何度か本記事でもご紹介しています。今年は新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため開催していませんが、例年は年10回開催し、年間来場者数は28万5000人（2019年）にのぼる大規模イベントです。

「わたしが理事長に就任する前、専務理事だった10年前から始まりました。松本実行委員長が中心になり、毎回、お客様に来ていただけるような企画を打ち出してくれています。飲食店をはじめとする商店街の店舗もうるおい、アンケートでも高い評価を頂いています。」

大垣市商連では元気ハツラツ市について、組合員や出店者等から毎年、アンケートを取得しています。昨年11月に実施したアンケートでは88.3%の方から開催について「支持する」という回答を得ました。

「10年もの長い期間、継続して開催できている要因の一つとして、行政との連携がうまくいっていることが挙げられます。大垣市では中心市街地活性化を重要な課題と位置づけており、延長線上で商店街の活性化にも積極的に協力してもらっています。行政の理解度は県内でも高い方ではないでしょうか。」

「もう一つの要因は、設営などはできるだけイベント業者に任せ、組合員に負担を掛けないようにしていることです。今の時代、商店主の留守を番頭さんが見てくれるなんてことはありません。ですから商店主にはイベント来場者をお店に呼び込むことに集中してもらうことが大切だと考えています。商店街の役割は組合員に対して『機会を増やす』ことではないでしょうか。」

大垣市商連では元気ハツラツ市以外にも、お客様に個店の魅力を伝える「まちゼミ」、市・商工会議所・金融機関と連携した「空き店舗対策」、自動車利用客に対応する「駐車券サービス」など、商店街を活性化する事業を実施しています。

■新型コロナウイルス感染症対策

今般の緊急事態宣言発令にともなう営業時間短縮・休業によって、大垣市商連の個店も大きな影響を受けています。大垣市商連では新型コロナウイルスの感染が収束し、緊急事態宣言が

解除された後を見越し、プレミアム商品券の発行を計画しています。

昨年は9月に発売しましたが、今年は1ヶ月前倒しし、8月に発売する予定にしました。1万1000円分の商品券を1万円で販売し、大垣市商連にあらかじめ登録した店舗で利用してもらうものです。昨年よりも予算を拡充しましたので、発行枚数が増え、利用にもつながります。



▲小倉利之理事長

■若手の経営者の力を借りて

2019年4月、大垣市商連などが出資して（一社）大垣タウンマネジメントを設立しました。本法人は大垣市商連の青年部という位置づけですが、組合員に限らず若手の経営者が参加しているそうです。それまで若手の経営者が集まって「石黒塾」という商店街活性化の勉強会を実施していたものを発展させました。

困難な時こそ自社のスタンスを 高級料理のデリバリーサービス

◆ムトウさかや 上野和幸氏

新型コロナウイルス感染症について、岐阜県は4月10日「非常事態宣言」を出し、続いて政府も4月16日「緊急事態宣言」の対象区域を全

法人化したメリットとして、市商連とは異なる独自の企画を立てやすくなったことがあります。市商連の事業は組合員に対して平等に取り扱うのが原則ですが、大垣タウンマネジメントは別法人ですので、必ずしも組合の原則に従わなくともよいため、自由度が高くなります。現在は「ちょいみせキッチン」というキッチン付きシェアスペースを運営したり、「えきまえスクエアパーティ」というイベントを実施したりしています。

「若い人たちはフットワークが軽いので、期待しています。」と小倉さんは語ります。

■先輩から受け継いだ商店街のために

大垣市商連では4～5年前、アーケードの照明をLEDに変更しました。その際、国の補助金に加え、市の補助金も利用し、組合の負担を12分の1にしました。個店ではできないことを実現することこそ市商連の役割だと、小倉さんは言います。

「昭和34年の伊勢湾台風は東海地方を直撃し、商店街も大きな被害を受けました。それを契機に制定されたのが商店街振興組合法です。市商連の仕事に取り組むときには、諸先輩の商店街を守り、発展させてきた歩みを思い起こしています。」

小倉さんの言葉からは、先輩から受け継いだ商店街を存続・発展させていきたいという強い意志を感じました。

国に拡大しました。現在、外出自粛に伴って商店街からは人影が消え、各店舗は売り上げが落ち込んでいます。そんな中、大垣駅前商店街の酒店

「ムトウさかや」さんが工夫を凝らして苦境を乗り切ろうとしています。店主の上野さんにお話を伺いました。

■宅配サービス開始まで

4月上旬から外出自粛が始まって、ムトウさかやさんも売り上げが落ちました。一般的な来店客が減ったばかりでなく、取引している飲食店が営業時間を短縮したり休業したりしたため、飲食店向けのお酒も販売数が減少したのです。そこで最初に上野さんが取り組んだのは、お酒の無料宅配サービスでした。SNSで宅配サービスを始めたことを発信しましたが、知り合いにしか反響はありませんでした。

次に思いついたのは、取引している飲食店の料理を宅配するサービスでした。飲食店も営業時間の短縮で売り上げが落ち、困っているはず。お酒の宅配サービスと合わせて料理も配達すれば、自店にとっても、取引先にとっても良いだろうというわけです。さっそく、取引先の一つ、大垣市の老舗料亭「四鳥」さんに相談しました。

「話し合いで決まったのは、『こんな時だから』ではなく、『この時しかできない』ものを作ろう、楽しめるぐらいのものを作ろう、ということでした。ぼくの取引先のブランチ・ヒロノヤさん、クッチーナさんにも声を掛けたところ、両店からも快諾してもらいました。」

四鳥さんとブランチ・ヒロノヤさんはグルメガイド誌「ゴ・エ・ミヨ」に掲載され、クッチーナさんも「ミシュラン」で星を獲得したお店です。名店の味を自宅で楽しめるわけです。4月7日に上野さんと3店のシェフが集まって宅配するメニューを打ち合わせ、14日には宅配サービスを開始しました。

メニューは三段重で、イタリアン(クッチーナさん)、和食(四鳥さん)、フレンチ(ブランチ・ヒロノヤさん)と各店の専門を生かしたものになっています。更に、お酒にも合う料理にしまし

たので、ムトウさかやさんが専門とするワインや地酒なども楽しめます。1食1万1000円です(税込み・配達料込み)。高めの値段設定にも理由がありました。

■提供する価値を見直す

「料理については安価なものを作る方策もありましたが、敢えてその手は取りませんでした。仮に単価600円のお弁当を作っても、街のお弁当屋さんには勝てないからです。この3店は客単価5000円、1万円の料理を作るプロです。したがって、少し値段は張るけれど、おいしいものを食べたいというお客さまに向けて作りました。」

上野さんは、今までの仕事の中にしか答えはないのではないか、と言います。ムトウさかやさんの主な取り扱い商品はワインや地酒です。売り上げが減ったからといって安価なアルコール飲料を扱ってもディスカウント酒店と渡り合うことはできません。それよりも、ワインや地酒を売るためにはどうしたらよいかと考えるべきだ——と言うのです。

「こんな時期ですから、今まで取り組んだことのない新しいことに挑戦しなければいけませんが、その新しいことはこれまでの延長線上にしかありません。状況が厳しくなるほど、これまでお客様とどういうお付き合いをしてき



▲上野和幸氏

たのか、どういう商売をしてきたのかが問われるのだと思うのです。」

「例えば、これまで月に10回外食していた人も、現在は緊急事態宣言を発令しているため、外食していません。宣言が解除されたら、すぐに月10回の外食が復活するのかというと、そんなことはなく、初めのころは3回とか4回にとどまるでしょう。その3回、4回に選んでいただくためにも、プロとしてのスキルを高める必要

があると考えています。これは飲食店に限らず、われわれ酒屋もそうですし、他の商店も同じではないでしょうか。」

自社がお客さまに提供する価値とは何なのか。困難な時期だからこそ、まずは基本に立ち返ることが重要なだと感じました。

【取材・記事 中小企業診断士 山田圭介】

◆ 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症専門家会議から、「人の接触を8割減らす、10のポイント」が示されました。

同会議では、これまで基本的な感染症対策として、手洗いや咳エチケット等の重要性、クラスター(集団感染)が生じやすい、「3つの密(密閉空間、密集場所、密接場面)」の回避などを呼びかけ

てきました。これらに加えて、緊急事態宣言の中、今後の流行をおさえるためには、すべての国民を対象に、「人の接触を8割減らす」ことが重要であるとされました。

「手洗い、咳エチケット等の感染対策」、「『3つの密』の回避」とともにご活用いただくようお願い致します。

人の接触を8割減らす、10のポイント

参考資料1

緊急事態宣言の中、誰もが感染するリスク、誰でも感染させるリスクがあります。
新型コロナウイルス感染症から、**あなたと身近な人の命**を守れるよう、日常生活を見直してみましょう。

1 ビデオ通話で
オンライン帰省



2 スーパーは1人
または**少人数で**
すいている時間に



3 ジョギングは
少人数で
公園は**すいた時間、**
場所を選ぶ



4 待てる買い物は
通販で



5 飲み会は
オンラインで



6 診療は**遠隔診療**



定期受診は間隔を調整

7 筋トレやヨガは
自宅で動画を活用



8 飲食は
持ち帰り、
宅配で



9 仕事は**在宅勤務**



通勤は医療・インフラ・
物流など社会機能維持
のために

10 会話は
マスクをつけて



**3つの密を
避けましょう**

1. 換気の悪い**密閉空間**
2. 多数が集まる**密集場所**
3. 間近で会話や発声をする**密接場面**

**手洗い・
咳エチケット・
換気や、健康管理
も、同様に重要です。**

◆ 岐阜県新型コロナウイルス感染症対応資金

制度概要

都道府県等による制度融資を活用し、民間金融機関にも実質無利子・無担保・据置最大5年融資を拡大します。

あわせて、信用保証（セーフティネット保証4号・5号、危機連絡保証）の保証料を半額又はゼロにします。

※事業者の皆様がお支払いした所定金利（1.4%）については、事後的に相当分をキャッシュバックします。

対象要件

岐阜県新型コロナウイルス感染症対応資金にて、セーフティネット保証4号・5号、危機連絡保証のいずれかを活用した場合に、以下の要件を満たせば、保証料・利子の減免を行います。

●個人事業主（事業性のあるフリーランス含む、小規模のみ）

売上高▲5%

保証料ゼロ・金利ゼロ

●小・中規模事業者（上記を除く）

売上高▲5% 保証料1／2

売上高▲15% 保証料ゼロ・金利ゼロ

その他の要件

□融資限度額：3000万円

□融資利率：年1.4%

□信用保証料：年0.85%

□補助期間：保証料は全期間、利子補給は当初3年間（条件変更に伴い生じる追加保証料は事業者の負担となります。）

□融資期間：10年以内（うち据置期間5年以内）

□担保：無担保

□保証人：代表者は一定要件（①法人・個人分離、②資産超過）を満たせば不要（代表者以外の連帯保証人は原則不要）

□申込期間：令和2年5月1日（金）～12月31日（木）金融機関にて受付をいたしますので、お取引のある又は最寄りの金融機関にご相談ください。

お問合せ先

岐阜県商工労働部商業・金融課 資金融資係

T E L : 058-272-8389

◆ 持続化給付金

持続化給付金とは？

感染症拡大により、営業自粛等により特に大きな影響を受ける事業者に対して、事業の継続を支え、再起の糧としていただくため、事業全般に広く使える給付金を給付します。

【中小法人等向け】

給付額

法人は200万円まで

※ただし、昨年1年間の売上からの減少分が上限です。

■給付額の算定方法

前年の総売上（事業収入）－

（前年同月比▲50%の売上 × 12ヶ月）

5月1日より10万円未満の金額は切り捨てる算定方法で給付してきましたが、5月8日に給付額の算定方法を変更しました。迅速に給付を進めるため、これまでどおり電子申請画面では10万円未満の金額を切り捨てて給付額が算定され、10万円未満を切り捨てた金額を口座に振り込みます。後日10万円未満の切り捨てられた金額は、追加で給付を行います。なお、追加の給付を受けるための申請は不要です。

給付対象

資本金10億円以上の大企業を除く、中小法人等を対象とし、医療法人、農業法人、NPO法人など、会社以外の法人についても幅広く対象となります。

【個人事業者等向け】

給付額

個人事業者等は100万円まで

※ただし、昨年1年間の売上からの減少分が上限です。

■給付額の算定方法 中小法人等と同じ

給付対象

フリーランスを含む個人事業者が広く対象となります。

申請期間

給付金の申請期間は令和2年5月1日から令和3年1月15日まで

注：電子申請の送信完了がの締め切りが、令和3年1月15日の24時までとなります。

申請方法

持続化給付金の申請用HP(<http://jizokukaku-yufuu.jp>)からの電子申請。

相談ダイヤル

持続化給付金事業 コールセンター

0120-115-570

[IP電話専用回線]

03-6831-0613

受付時間 8:30~19:00

5月・6月（毎日）7月から12月（土曜日を除く日から金曜日）

詳細につきましては、持続化給付金のホームページをご覧ください。

岐阜県からのお知らせです

自動車税種別割は 6月1日までに 納めましょう！

《自動車税は、県民のみなさまの教育・福祉などのために役立てられています》

【納付方法は次のとおり】

○ スマートフォンアプリを利用した納付 (PayB (ペイビー)、LINE Pay (ラインペイ))

スマートフォン決済アプリ PayB、モバイル送金・決済サービス LINE Payを利用した納付に対応しています。

アプリをインストールしたスマートフォンから、納税通知書に印字されているコンビニ収納用バーコードを読み取ることで自動車税種別割の納付ができます。



[LINE Pay]

○ 銀行などの金融機関

○ マルチペイメントネットワーク (Pay-easy (ペイジー))

Pay-easyに対応しているインターネットバンキング又はモバイルバンキング、ATM等を利用して納付可能！

○ 全国の主なコンビニエンスストア等

セブン-イレブン、デイリーヤマザキ、ファミリーマート、ミニストップ、ローソン
ヤマザキスペシャルパートナーショップ、MMK設置店

○ インターネットを利用したクレジットカード納付

24時間ご自宅からも外出先からも納付手続きが可能！(納付手続は、6月1日24時まで)

・利用できるクレジットカードは、以下のとおりです。



・税額のほかに 330円の決済手数料 が必要となります。



Yahoo!公金支払いホームページ
<https://koukin.yahoo.co.jp/>

自動車税種別割についてご不明な点は、

・岐阜県庁ホームページから  をクリック！

・岐阜県自動車税事務所 ☎ 058(279)3781

※詳細は納税通知書に同封のチラシをご覧下さい。

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。